

せつ明文を読もう①

年

組

番

名前

◇ 左の文しよは、さくらさんが夏休みの自由けんきゆうのさん考にするために読んだ、せつ明文の一部です。よく読んで、あとの問いに答えましよう。

1 ヒマワリをそだてたり、たねをとったりしたけいけんのある人も多いことでしょう。ヒマワリはたくさんの人にあいされている、夏をだいひようする花です。みなさんのよく知っているこのヒマワリには、じつはいろいろなひみつがあります。ここでは、ヒマワリの三つのひみつについてしようかいしていきます。

2 一つ目は、花についてのひみつです。

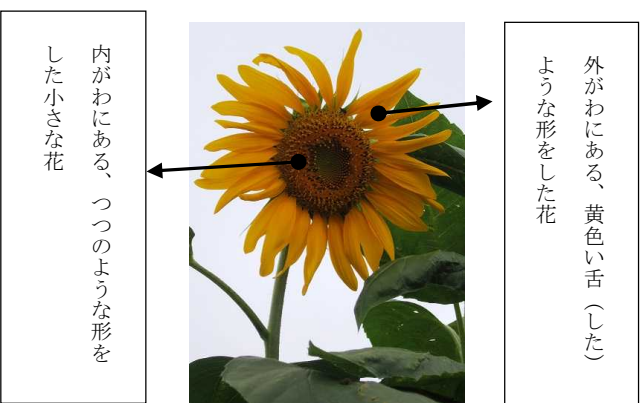
ヒマワリのあの大きな花は、一つの花に見えます。

① 本当は、たくさんの小さな花があつまってできているのです。

ヒマワリの花は、外がわにある、黄色い舌（した）のような形をした花と、内がわにある、つつのような形をした小さな花とできています。

外がわの、舌（した）のような形の花は、虫たちを引きつけるかざりのやくめをしています。②、

内がわにたくさんある、つつのような形の花にはおしべとめしべがあり、たねを作るやくめをしています。この花は、外がわから中心にむかって、じゅん番にさいていきます。



3 二つ目は、名前についてのひみつです。

ヒマワリの花は、せい長するとき、いつも太ようの方を向いています。ヒマワリという名前は、まるで、太ようをおいかけてまわっているように見えることからつけられたものだと言われています。太よう（日）をおいけてまわる。だから「日まわり」…「ヒマワリ」…というわけです。

4 三つ目のひみつは、ヒマワリが食べられるということです。

ヒマワリのたねをしぼると、たくさんのあぶらがとれます。このあぶらは、ヒマワリあぶらとして、サラダあぶらやおかし用のあぶらとしてつかわれています。かをとったたねをいったり、いためたりして食べることもできます。また、たねだけでなく、花びらをサラダにして食べることもあるようです。

一、 [1]のまとまりに「ヒマワリの三つのひみつについてしようかいしていきます。」と書かれています。 [3]の三つのひみつ」とは何についてのひみつなのか書きましょう。

() () () () () () ()

二、 [2]のまとまりにある [1]、 [2]に入ることばの組み合わせとして、一番よいものはどれですか。一つえらんで、ア～エの記号で答えましょう。

- ア ①しかし ②だから
 - イ ①そして ②しかし
 - ウ ①ところが ②そして
 - エ ①だから ②そして
-

三、 さくらさんは、ヒマワリの花についてひょうにまとめてみました。 [3] [4]にあてはまることばをひょうの中に書きましょう。

やくめ	形	
虫たちを引きつけるかざり	黄色いしたのような形	外がわにある花
[4]	[3]	内がわにある花

四、 ヒマワリという名前がつけられたわけを、 [3]のまとまりの中のことばをつかって書きましょう。

() () () () () () ()

五、 さくらさんは、ヒマワリが食べられることについて、左のようなメモを書きました。 [5]から [8]にあてはまることばを、 [4]のまとまりの中のことばをつかって書きましょう。

さくらさんのメモ

【ヒマワリは食べられる】

☆ たね…*しぼってとれるあぶら (ヒマワリあぶら)
↓サラダあぶらや) ⑤ (としてつかわれる。
*からをとり、) ⑥ (として食べる。

☆ (⑦) …*) ⑧ (食べることもある。

⑦	⑤
⑧	⑥

せつ明文を読もう① (答え)

一、 [1]のまとまりに「ヒマワリの三つのひみつについてしようかいしていきます。」と書かれていますが、「三つのひみつ」とは何についてのひみつなのか書きましょう。

(花) (名前) (ヒマワリが) 食べられること

二、 [2]のまとまりにある [1]、 [2]に入ることばの組み合わせとして、一番よいものはどれですか。一つえらんで、ア～エの記号で答えましょう。

- ア ①しかし ②だから
イ ①そして ②しかし
ウ ①ところが ②そして
エ ①だから ②そして

ウ

三、 さくらさんは、ヒマワリの花についてひょうにまとめてみました。③④にあてはまることばをひょうの中に書きましょう。

やくめ	虫たちを引きつけるかざり	④	たねを作る
形	黄色いしたのような形	③	つつのような形
	外がわにある花		内がわにある花

四、 ヒマワリという名前がつけられたわけを、 [3]のまとまりの中のことばをつかって書きましょう。

(まるで) (太ようをおいかけてまわっているように見える) (こと) (から)

五、 さくらさんは、ヒマワリが食べられることについて、左のようなメモを書きました。⑤から⑧にあてはまることばを、 [4]のまとまりの中のことばをつかって書きましょう。

【ヒマワリは食べられる】

☆たね…*しぼってとれるあぶら(ヒマワリあぶら)

↓サラダあぶらや () ()としてつかわれる。

*からをとり、 () ()して食べる。

☆ () ()…* () () 食べることもある。

さくらさんのメモ

⑤	おかし用のあぶら	⑥	いたり、いためたり
⑦	花びら	⑧	サラダにして